

《令和2年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
近世唱導文芸研究会	平間 尚子
研究会名 略称: 近世唱導	所 属: 大正大学総合仏教研究所
活動紹介	
<p>【活動内容】 本研究会の活動は、大正大学図書館に所蔵されている近世唱導文献の調査ならびに研究を目的としている。現在は、慶安四年に刊行された『類雑集』を主な研究対象としている。本書は、巻一～巻十と総目録の全十巻十一冊で構成され、内典・外典等からの抜書きを分類配列した、類書である。平成23年度以降、毎年一巻ずつ翻刻を進めてきた。今年度は、『類雑集』全巻を対象に、出典の未詳箇所を再検討を行ない、『大正大学総合仏教研究所研究年報』42号に成果報告を掲載する予定である。また、平成28年度より、『類雑集』伝本調査に着手し、現在までに、京都大学、龍谷大学、大谷大学、叡山文庫、東洋大学哲学堂、石川県立歴史博物館(巻七のみ)にて調査を行なっている。この結果は、月例研究会で報告している。本研究会には、教員、助手、大学院修了者、大学院生が所属し、連携を取りつつ研究を進めている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 『除睡鈔——翻刻と研究——』岩田書院(大正大学総合仏教研究所叢書、第二十四巻、2008年) 『類雑集』翻刻[一]～[十]、『大正大学総合仏教研究所年報』33号～42号(2011年～2020年)</p>	
<p>【令和2年度活動計画】 今年度は、『類雑集』全巻を対象に、出典が未詳となっている箇所を再検討し、『大正大学総合仏教研究所研究年報』43号に掲載する予定である。また、引き続き本学所蔵本以外の伝本調査や、関連資料の調査を行ない、『類雑集』がどのように生成され、用いられてきたのかについて、分析と考察を進めたい。</p>	